



# 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月27日

上場会社名 **新光商事株式会社**  
(URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>)

(コード番号： 8141 東証第一部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 北井 暁夫  
責任者役職・氏名 取締役 蜂谷 訓平

T E L : (03) 5721 - 2111

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) 税金費用の計算

税金費用は簡便法により計算し、未払法人税等に計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日 ~ 平成17年6月30日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	35,353	18.7	1,159	44.2	1,104	36.1	620	15.7
17年3月期第1四半期	29,780	21.7	803	198.8	811	190.2	536	241.1
(参考) 17年3月期	113,968		2,491		2,595		1,593	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	27 02	-
17年3月期第1四半期	23 33	-
(参考) 17年3月期	68 46	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期における国内経済は緩やかな回復基調にあり、エレクトロニクス業界においては在庫調整も一巡し、まだら模様ではありますが回復の兆しが見えてまいりました。

当社グループの業績は、国内において集積回路は海外向け光伝送装置等インフラ系の需要が伸び、パソコン周辺機器向け及び自動車電装向けは堅調に推移いたしました。中国向け P H S 端末用 L S I 及び携帯電話用 M C P (複合専用メモリ) に採用される S R A M の需要が減少いたしました。その他電子部品につきましては娛樂機器関係が好調に推移いたしました。

海外においては概ね堅調に推移いたしました。

これらの結果、当社グループの連結業績は、売上高 353 億 53 百万円（前年同期比 18.7% 増）、営業利益 11 億 59 百万円（前年同期比 44.2% 増）、経常利益 11 億 4 百万円（前年同期比 36.1% 増）、四半期純利益 6 億 20 百万円（前年同期比 15.7% 増）となりました。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	64,911	35,226	54.3	1,532 93
17年3月期第1四半期	62,647	33,879	54.1	1,473 45
(参考) 17年3月期	58,107	34,686	59.7	1,508 41

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	646	88	48	7,106
17年3月期第1四半期	1,375	73	251	6,245
(参考)17年3月期	2,982	30	1,752	6,501

[ 財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期末における総資産は、649億11百万円となり、前第1四半期末比22億64百万円の増加となりました。主な要因は、売上高の増加に伴い、受取手形及び売掛金が12億40百万円、たな卸資産が14億90百万円増加したこと等によるものであります。

また、株主資本につきましては、352億26百万円となり、前第1四半期末比13億47百万円の増加となりました。この結果、株主資本比率は、前第1四半期末の54.1%から54.3%と0.2ポイント上昇いたしました。

( 連結キャッシュ・フローの状況 )

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は71億6百万円となり、前第1四半期連結会計期間と比較して8億61百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は6億46百万円の獲得となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益10億58百万円及び仕入債務の増加60億46百万円等であり、主なマイナス要因は、売上債権の増加45億90百万円、たな卸資産の増加17億93百万円及び法人税等の支払2億38百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は88百万円の支出となりました。主なマイナス要因は、投資有価証券取得による支出69百万円、無形固定資産の取得による支出10百万円及びその他投資資産の取得による支出8百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は48百万円の支出となりました。主なプラス要因は、短期借入による収入6億65百万円であり、主なマイナス要因は、短期借入金の返済による支出5億51百万円及び配当金の支払1億61百万円等であります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書、販売の状況

以上

【参考】

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	60,000	1,400	800
通期	124,000	3,000	1,800

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 78円32銭

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しておりますが、実際の業績は、業況の変化などにより、大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

今後の市場環境は、緩やかながら回復基調は鮮明になってくると思われれます。当社グループを取り巻く環境においては、一部の商品において価格競争の激化に伴う値崩れの心配はあるものの、自動車電装向け及び産業機器向けを主として堅調に推移するものと見ております。

平成18年3月期の業績予想につきましては、現在のところ、前回発表(平成17年5月18日)の通期の業績予想に変更はございません。

## 添付資料

## 1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1.現金及び預金	7,106	6,245			6,501
2.受取手形及び売掛金	35,599	34,358			30,988
3.たな卸資産	10,855	9,365			9,061
4.未収入金	4,091	4,479			4,357
5.その他	328	932			312
貸倒引当金	98	105			93
流動資産合計	57,882	55,274	2,607	4.7	51,127
固定資産					
1.有形固定資産	3,068	3,156	87	2.8	3,094
2.無形固定資産	195	451	256	56.8	202
3.投資その他の資産					
(1)投資有価証券	2,343	2,418			2,263
(2)その他	1,530	1,428			1,533
貸倒引当金	108	82			114
投資その他の資産合計	3,765	3,764	0	0.0	3,682
固定資産合計	7,029	7,372	343	4.7	6,979
資産合計	64,911	62,647	2,264	3.6	58,107
(負債の部)					
流動負債					
1.支払手形及び買掛金	23,815	21,474			17,768
2.短期借入金	3,004	4,386			2,884
3.その他	1,390	1,664			1,293
流動負債合計	28,210	27,525	685	2.5	21,945
固定負債					
1.長期借入金	300	100			300
2.再評価に係る繰延税金負債	208	208			208
3.退職給付引当金	715	676			706
4.役員退職慰労引当金	112	120			127
5.その他	138	137			132
固定負債合計	1,474	1,242	231	18.6	1,475
負債合計	29,685	28,768	916	3.2	23,421
(少数株主持分)					
少数株主分	-	-	-	-	-
(資本の部)					
資本金	7,336	7,336	-	-	7,336
資本剰余金	7,434	7,434	0	0.0	7,434
利益剰余金	19,763	18,427	1,336	7.3	19,323
土地再評価差額金	303	303	-	-	303
その他有価証券評価差額金	552	648	96	14.8	542
為替換算調整勘定	123	241	117	48.7	216
自己株式	39	29	10	35.8	38
資本合計	35,226	33,879	1,347	4.0	34,686
負債、少数株主持分 及び資本の合計	64,911	62,647	2,264	3.6	58,107

## 2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	35,353	29,780	5,573	18.7	113,968
売上原価	32,270	27,072	5,198	19.2	103,848
売上総利益	3,082	2,707	375	13.9	10,119
販売費及び一般管理費	1,923	1,903	19	1.0	7,627
営業利益	1,159	803	355	44.2	2,491
営業外収益	35	31	4	15.1	182
1. 受取利息	6	1			13
2. 受取配当金	14	11			18
3. 商圏譲渡益	-	-			108
4. 雑収入	14	18			41
営業外費用	90	23	67	289.0	78
1. 支払利息	8	9			33
2. 為替差損	45	9			14
3. 雑支出	36	4			31
経常利益	1,104	811	292	36.1	2,595
特別利益	13	87	74	84.4	110
1. 貸倒引当金戻入額	13	87			100
2. その他	-	-			10
特別損失	59	56	2	5.0	76
1. 固定資産売却・除却損	0	0			12
2. 退職給付制度改定損失	53	-			-
3. 投資有価証券評価損	6	56			56
4. その他	-	-			7
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,058	843	215	25.6	2,629
税金費用	438	306	131	42.9	1,036
四半期(当期)純利益	620	536	84	15.7	1,593

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成18年3月期 第1四半期)	(平成17年3月期 第1四半期)	平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,058	843	2,629
減価償却費	60	130	508
退職給付引当金の増加額	8	5	36
役員退職慰労引当金の減少額	15	33	25
貸倒引当金の増減額	0	84	64
受取利息及び受取配当金	21	12	31
支払利息	8	9	33
有形固定資産売却益	-	-	0
有形固定資産売却・除却損	0	0	12
投資有価証券評価損	6	56	56
売上債権の増減額	4,590	2,276	5,497
未収入金の減少額	70	285	569
たな卸資産の増加額	1,793	1,357	1,053
仕入債務の増減額	6,046	19	3,725
未払消費税等の増減額	192	159	9
その他の資産及び負債の増減額	15	201	118
取締役賞与の支払額	20	15	15
その他非資金取引	127	179	2
小計	867	1,864	4,297
利息及び配当金の受取額	21	19	34
利息の支払額	4	2	31
法人税等の支払額	238	505	1,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	646	1,375	2,982
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の取得による支出	69	1	26
投資有価証券の売却による収入	-	-	0
有形固定資産の取得による支出	3	39	94
有形固定資産の売却による収入	0	-	0
無形固定資産の取得による支出	10	32	49
貸付による支出	0	-	-
貸付金の回収による収入	0	1	3
その他投資資産の取得による支出	8	4	41
その他投資資産の売却・解約による収入	3	3	237
投資活動によるキャッシュ・フロー	88	73	30
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	665	1,281	6,355
短期借入金の返済による支出	551	1,346	8,051
長期借入れによる収入	-	-	600
長期借入金の返済による支出	-	-	300
自己株式の取得による支出	1	2	11
自己株式の売却による収入	-	0	0
配当金の支払額	161	184	345
財務活動によるキャッシュ・フロー	48	251	1,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	42	88
現金及び現金同等物の増加額	605	1,093	1,349
現金及び現金同等物の期首残高	6,501	5,152	5,152
現金及び現金同等物の期末残高	7,106	6,245	6,501

#### 4. 販売の状況

##### 販売実績

当四半期の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	対前年同四半期比(%)
電子部品事業(百万円)	34,342	120.1
電子機器事業(百万円)	1,011	76.8
合計(百万円)	35,353	118.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。